



生徒の成長の後ろ盾となるお力添えをお願いします！

本年度の玖島中学校のPTA活動が、入学式の日（1年生保護者の皆様から始まり、9日（火）の2・3年生学年PTAをもって役員選出を終えました。お陰をもちまして、無事に令和6年度の玖島中学校PTA組織が組み上がり、心から感謝しております。ありがとうございます。この間新旧の三役の皆様には8日（月）の三役会をはじめ、16日（火）の合同専門部会、18日（木）の新旧評議員会とお世話をいただきました。重ねて感謝申し上げます。



学校も3週目を迎え、教科の学習も本格的に始まる中、新入生歓迎の意味の「生徒会オリエンテーション」、「部活動紹介」等も実施しました。2、3年生が工夫を凝らして説明や演奏、実技を確かな力としてりっぱに披露しました。5月に入ると、集団の力、美しさを求める体育大会に向け躍動の時期を迎えます。ご家庭でも子供たちへの励ましの言葉をお願いします。また、明後日の木曜日は、14:00から部活動育成会総会、15:00からPTA総会を予定しています。役員の皆様をはじめ会員の保護者の皆様の子供たちの成長の後ろ盾となるお力添えや取組を今後ともよろしく願いいたします。



PTAの起源

PTAは、父母(Parent)と教師(Teacher)の会(Association)の略称であることは、皆さんご承知のとおりです。このPTAの創始者は、アメリカのバーニーさんだと言われています。19世紀後半のアメリカは、子供たちを取り巻く環境が、決して望ましいものではありませんでした。子供たちが健やかに成長していくためには、まず何よりも教育環境を整備しなければならないと考え、1897年(明治30年)に仲間とともに全米母親大会をワシントンで開催し、子供の健全育成と教育環境の浄化を訴えました。その後、この運動に父親や教師たちも参加し、1924年(大正13年)に、PTAの基となった「父母と教師の全国協議会」が結成されました。

日本のPTAは、戦後(昭和21年)日本の教育の民主的改革のために来日したアメリカ教育使節団がアメリカのPTAを紹介し、PTAの結成を勧奨しました。その後、当時の文部省が、PTAづくりを積極的に奨励した結果、1950年(昭和25年)までに、全国の約98%の小・中・高等学校にPTAが結成されました。

長崎県では、1947年から1948年にかけて、PTAが急速に結成されました。そして、1949年(昭和24年)9月、長崎県PTA連合会が結成され、今日に至っています。

平成22年度発行「PTA活動のために」長崎県教育委員会から

失ってはならない姿勢です。... 飛耳長目

PTAは、父母(Parent)と教師(Teacher)の会(Association)の略称であることは、皆さんご承知のとおりです。このPTAの創始者は、アメリカのバーニーさんだと言われています。19世紀後半のアメリカは、子供たちを取り巻く環境が、決して望ましいものではありませんでした。子供たちが健やかに成長していくためには、まず何よりも教育環境を整備しなければならないと考え、1897年(明治30年)に仲間とともに全米母親大会をワシントンで開催し、子供の健全育成と教育環境の浄化を訴えました。その後、この運動に父親や教師たちも参加し、1924年(大正13年)に、PTAの基となった「父母と教師の全国協議会」が結成されました。

- 1日(水) 実力テスト①(2・3年)、確認テスト(1年) 尿検査2次
- 2日(木) 実力テスト②(2・3年)、ブロック結団式
- 3日(金) 憲法記念日
- 4日(土) みどりの日
- 5日(日) こどもの日
- 6日(月) 振替休日
- 7日(火) 教育実習開始、教育相談(二者面談)
- 8日(水) 教育相談(二者面談)、歯科検診(2年)
- 9日(木) 教育相談(二者面談)
- 13日(月) 体育大会係打合せ
- 15日(水) 耳鼻科検診(1年)
- 16日(木) 体育大会総練習 ※弁当(給食なし)
- 17日(金) 体育大会会場設営
- 19日(日) 体育大会 ※弁当(後片付け等の後、下校)
- 20日(月) 振替休業日(体育大会)
- 21日(火) 体育大会予備日 ※弁当(給食なし)
- 22日(水) 心臓検診(1年)
- 24日(金) 全国学力経年調査(3年:英語)
- 27日(月) 専門委員会、教育実習終了(3週間)
- 28日(火) 内科検診(3年)、生徒集会・表彰伝達



飛耳長目

長崎県の彫刻家、北村西望先生は、平和祈念像の作者です。明治17(一八八四)年に生まれ、昭和62(一九八七)年に百四歳で亡くなられました。亡くなる日まで現役の作家として製作に励んでいらっしやいました。明治・大正・昭和の三つの時代を彫刻一筋に生きられた先生ですが、その道のりは決して平坦ではなかったようです。美術の世界の登竜門と言われる文展(今日の日展)でライバルが、次々と賞を獲得する中、ご自身は8年間も賞を取れず、彫刻を辞めようと思われたこともあったそうです。「私は、天才ではない。だからいい仕事をするために長生きするんです。」と語ってもおられます。平和祈念像を作られていた夜、足元にいた蝸牛(かたつむり)が、翌朝見ると10メートルもある像のてっぺんに上がっていました。それを見た先生は、いたく感激されて、自分の人生と重ねられて「たゆまざる歩み恐ろし蝸牛」という句を作られました。たゆまぬ努力を続ける。ものに成るためにも、失ってはならない姿勢です。